

2

FEB 2023
VOL.160

心と心をビビビと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

ishin-denshin

水野印刷工業 社内報

ミデコの日々の取り組みを知っていただくため、社外にもお配りしています。

みかわんこ▶



Let's コミュニケート!
楽しんできてね

きおく画伯
K

社長と行こう! こっそり食堂
蒲郡版ファミレス

PowerST. Gamagori
22 JAN. 2023

蒲郡市 MASC

特集

パワステがまごおり

パワステがまごおり スカベンジャーラリースタート時の山本号 撮影：五十嵐瑞希さん

POWER ST. GAMAGORI

特集

パワステがまごおり

スカベンジャーラリー体験記



山本搭乗車両

マツダロードスター

欧州発祥の自動車競技 スカベンジャーラリー

1月22日蒲郡にて開催された「パワステがまごおり」は、乗り物や最先端技術に触れることができるイベントです。その中で実施された「スカベンジャーラリー」に参加しました。

スカベンジャーラリーとはヨーロッパ発祥の競技でお買い物ラリーとも呼ばれるものです。設定されたコースを車でまわり、様々なミッションをクリアしながら競います。今回は各チェックポイントにクイズが用意され、それをスマホで解答、その正答率を競いました。

ラリーはまさに非日常、蒲郡のロケーションの魅力を肌で感じることができました。名だたる名車の中ですらにも走れるのはこの上ない喜びです。感無量也。



スパ西浦モーターパークでの設問

事前にサーキット走行をした鈴木寿明市長のラップタイムを当てるといもの（激ムズ）。



2023 POWER ST. GAMAGORI 2023 SCAVENGER RALLY

スカベンジャーラリー 走行コース



冬なのに南国感バリバリの塩浜駐車場

西浦温泉はまさに蒲郡のモンテカルロ！

サーキットでレーサー気分！

蒲郡に往年の名車が集う！

スカベンジャーラリーには新旧様々な車が参加しました。70年代のポルシェから黄金期の英国車、国産旧車、現代のスーパーカーなど車好きにはたまらない車ばかりが集結しました。驚きなのは多くが蒲郡周辺地域の車両が多いこと。三河地域にはこんなにも貴重な車両があったのかと感嘆の思いです。

パワステがまごおりについて

ラリー界の重鎮である勝田照夫モンテカルロオートスポーツクラブ会長に賛同を得て開催されたパワステがまごおりは、自動車文化（のりもの）を軸とした蒲郡の発展に寄与するもので、はたらく車の展示やラリーカーによるデモン、オフロード車の体験搭乗やクルージング体験などが用意されたほか、開会式にはラリードライバー「モリゾー」こと豊田章男社長も登場し、その後ラリーカーでデモンを披露するなど盛り上がりを見せました。

文責・撮影/山本



ランボルギーニアヴェンタドール

トヨタスポーツ800
"ヨタハチ"

トライアンフTR4



開会式でスピーチする豊田章男社長

デモンを行うトヨタ・ヤリスWRC

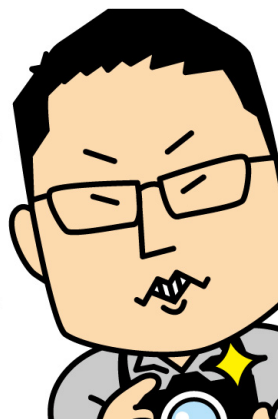


ミデコラム

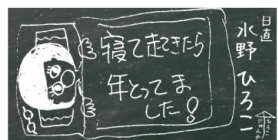
今月のにわか編集長
山本兼佑

にわか編集長とは!?

ishin-denshinの編集長は持ち回り制。特集ページの執筆や、みんなのコラムにコメントをつけたり小コーナーの原稿をまとめるのが主な仕事です。



ミデコ社員ひとりひとりが、それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!



第126回

遠距離移動

たまに見るテレビ、所さんの。その番組の1コーナーで結構な距離の遠距離通勤をしている学生さんなどを紹介するというのがある。いろいろな駅で乗り換えたり、延々と乗り続けたりしながら自宅まで行くのである。そしてかかった定期の金額の発表。先日見たのは約30,000円弱の金額だった。新幹線を使えば時間はだいぶ短縮されるが金額は倍に多分遠距離先に部屋などを借りたらもっとかかるのだろう。そして、親の負担も考えこの時間をだいぶかけての遠距離通学を選んだとのこと。

遠距離通学とは違うが昨年からかかっている病院が豊明市にある。車で行くのが一番早い方法だが、運転に自信がない私にはハードルが高い。それで電車という手段を取っている。住んでいる町からは名鉄電車で難しい乗り換えもせず一番、お金もかからない方法880円で病院の最寄り駅まで行ける。しかし、この路線が鈍行で途中電車を乗り換えるのだがその時にとてつもない人数の高校生が乗ってくる。そのため途中から50分ほど座れない。最初に乗ったときは股関節の手術をする前だったので、股関節が悲鳴を上げ、「この高校生たちいつ降るの」と思いながらスマホをいじる高校生を見ながら結局自分が先に降りるといった具合だった。それに懲りた私はお金はかかるが他の方法を考えたのである。蒲郡駅に車をとめ、500円。豊橋駅まで

330円。豊橋駅から名鉄で目的地まで880円。お金は余分にかかるが豊橋駅が始発なのでほとんど座れるのである。そしてうまくいけば途中まで特急にのれるので時間も短縮できるのである。そして現在までそのルートで。

これが毎日の通勤通学だったら、節約も考えるかもしれない。三か月に1回ほどの病院通い、ちょっとお金をかけてゆっくり座っていてもいいですね。

にわか編集長コメント

遠距離通学ならめ遠距離通院ですね。座りたい時に座れないのは酷ですね。始発で攻めるのはグッドアイデア。最近車移動より公共交通機関のがクレバーな気がします。



第126回

2023 初蹴り狂想曲

2023年の蹴球生活は4日の「初蹴り」からスタート。今年度をもって学生蹴球活動も終える長男、帰省のたびに室内用練習ボールをこねくりまわし、次男を道連れに近所でサッカー。勉強しなくてよかった途端「勉強したい!」と思うようになるあの現象ですな。「あーサッカーしたい」とつぶやくのを、天井裏から覗いていたのか、小学校時代のチームメイトが「今年もいきますか?」と誘ってくれた。同じクラブOBの次男を誘

うものの、そこは現役蹴球小僧。「ウチ(高校)も4日が初蹴りなんで」ときっぱりお断り。

さて、現役次男が先発で家を出ると、ぼちぼち仕度を始めた長男「あ!サッカーウェア一式忘れたっ!!」…今年もいろいろやさしそうな予感。家探しして物色するも、やれ、アンダーがない!だの、なんだこの糸の手袋!だの文句が多い。「あいつホントに現役かっ!!」という雄叫びが階下の我々にも聞こえた。

一台風一過一
初蹴り会場では、結構集まったOBに気を良くした(?)コーチが急遽お弁当を手配してくれたようで、夫婦ふたりきりの静かな昼餼。

と、長男から着電。「いまどこ?ウチにいる?」
親の在宅を確認するなりブツリと切れる。…なんなんだ、一体。
20分後、玄関がボタンと開いて、「みんな挨拶したいっていうから!早く来て!!」

え、なに?みんな??と半ばニヤニヤしながらオットと顔を出すと、わお懐かしい顔。
車を出してくれたF、音頭をとってくれた



▲長男に「雪遊びじゃないんだから!」とダメ出しされた手袋。なんがいかんのじゃ

きおく画伯

第79回

お題 カツオ(サザエさん)

描いた人 大河内さん

胸の「K」の字がポイントだとつぶやきながら作画していた大河内さん。あつたっけ?と思い検索してみましたが、確かに着てますね…(驚)



▲今年も安定の宴会部長

Y、小学生相手に本気のスライディングをしてジャージがどろどろのK。…ぜんぜん変わってないw
春からはまた各々の進む道を邁進するのだけれど、基本軸は暇さえあればボールを蹴って、試合に負けては泣き、勝っては抱き合って喜んだ、あのちっちゃなどろんこ小僧たちだ。なんかうれしいぞ。頑張ってきてよかったな、私。みんなありがとう。
初蹴りも終り、長男が名古屋へ戻ってしばらくした休日、次男もかつてのチームメイトたちと遊びにでかけた。蒲郡駅に集合して近くの公園でサッカーした後、友達の家遊びに行くそう。ふふっ、ちょっとの間もサッカーしたいのね…なんて呑気に思ってたなら、夜、小僧の母からLINE。「…え?」「ええええええ!!!」
衝撃…送ってくれた集合写真(※6人)、よく見るとみんなジャージ&スパイク。「ちょっと…うちの子だけパーカー&ジーンズ!!!温度差!」と返信すると「スニーカーで上手に蹴っとったよお^^」とダメ押しをいただく。
メインがお家遊びだと思ってたの、どうやらウチだけだったらしい…(涙)正月早々打ちひしがれる妻の背中を不憚に思ったか、オットが一言「いいよ、次男はミスチルの桜井さんの路線で行けば」
…どの立ち位置で物申しているのか…今年

もうちの男衆に振り回されるであろうことは間違いないわ。

にわか編集長コメント

服装のミスマッチの恥ずかしさを隠すためのアイマスク?でしょうか。青春してますね〜。

第127回

ご当地スーパーのすすめ

最近のマイブーム、それは地方スーパー巡りです。元々旅行先等でご当地スーパーに行くのはけっこう好きなのですが、最近意識して行きます。というか、目的地ですらあります。ご当地スーパーの魅力は地元感を味わえること。地元の方が日常何を食べている、どんなものが売れているかを観察し、地元民気分を味わうのが乙なのです。観光施設や土産物店とは違う、その地域の“リアル”が商品棚にあらわれています。

最近開拓したのは渥美半島にある「フー



ドオアシスあつみ福江店」。以前から気になっていたの、今回思いきって寄ってみました。店内はオシャレな感じ、陳列している商品はこだわりあるチョイス。惣菜のラインナップは並ですが、けっこう味付けがスーパーによって違うので食べ比べるのも楽しみの一つ。特に僕はたこ焼きに目がないので、あれば必ず買うと言っていいほどのです。僕のお気に入りには浜松にある「スーパーキムラ」のたこ焼きですが、こちらのたこ焼きもなかなかのお味。優劣付け難し。食感、ソースのテイストが全然違うので、同じたこ焼きでもジャンル違い?というべき方向性の違いか。

続いて酒コーナーもチェック。昨今、全国各地でクラフトビール、ご当地ビールや、大手メーカーの商品でも地域限定商品もあつたりするので目が離せません。あつみにはビールの種類も豊富で各地のクラフトビールが並んでいました。地元系があつたかは分かりません。今度行ったら詳細チェックです。

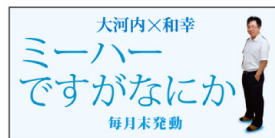
買い物済ませ駐車場に向かうと不思議な光景に遭遇。地元の方の車がことごとくハンドルを切った状態で駐車されている。頭から駐めている車もバックで駐めている車も何かハンドルが切られている。切り返すことなく一発で駐めたのでしょうか、出る時びっくりしないのでしょうか。意図せず曲がってしまいそう。これはもしや発見?地域性かも?土地が広くおらかな風土のためか?関係なさそうですが、一度調べてみると面白い事実が発覚するかもしれませんね(笑)

ご当地スーパーめぐりはこういった地元観察もできたりするので、地域文化を学ぶまさに最前線です。旅行に出掛けて、観光名所や道の駅に寄るのもいいですが、ご当地スーパーはディープな楽しみができ

るので、是非おすすしたいです。

にわか編集長コメント

最近ご当地限定とかに弱いです。あれなんだらう、別に欲しくはないのに、せっかくだからで買ってしまおう。無駄遣いの極み也。



第127回

国民的大俳優との初共演（その2）

阿部寛大先生との運命の共演？をはたした一昨年の暑い夏。もう二度とこんなことはないだろうと思っていた矢先になんと二度目のオファーがキターッ！さすがは我らがM社長。その顔の広さと一般ピーポーには絶対手に入らないような情報提供の多さには毎度感心してしまう。聞けば今度の役どころは「県職員」。県知事の付き人のような位置づけらしい。たしかエキストラ募集要項には他に観客、漁師、ヤンキーなどの役柄があったように記憶している。そしてロケ地は形原漁港。なんでも映画序盤の結構重要なシーンがあるとかで、撮影時間も早朝からほぼ丸一日かかるようなことも聞いた。漁港で県職員が阿部先生とどう絡むのか、しかも今時、死語となりつつあるヤンキーも現れるという。まったくどんな撮影シーンになるのか想像もつかぬまま、こんなビッグチャンスを断る理由があるわけもなく、快諾したことは言うまでもない。

そしてロケ当日。集合場所は漁港近くの公民館。時間が来るまで言われるがま

ま通路脇に座って待機していると警官姿の役者さんたちが入れ替わり立ち替わり前を通り過ぎていく。名前こそ思い出せないがドラマや映画で見たことのある面々が次々と現れ、ミーハーメーターも爆上がり！あの清野菜名ちゃんも目の前を通り過ぎたというが、うっかり見過ごしてしまった(泣)。そして大トリはやはりこのお方。まわりがにわかにならないうち、ジャージ姿の大男が目の前を通り過ぎていった。ギャーッ！阿部寛大先生だっ！しかしTRICKの上田教授や下町ロケットの佃社長、ドラゴン桜の桜木先生、結婚できない男の建築家・桑野、そしてどうする家康の武田信玄など数々の役柄を演じてきた阿部先生とはまったく別人のような素の阿部ちゃんだった。おそらくまだ寝起きなのだろう、随分と眠たそうに見えたが、このような阿部先生を生で見られるのもエキストラならではの役得。ラッキー！

ほどなくしてロケ現場である形原漁港へ移動することとなりセットを見て、本日の全貌が明らかになった。どうやら阿部寛大先生演じる成瀬が音楽隊へ異動となって初のデビューコンサートをこの形原漁港で開催するというこのようだ。そしてそのコンサートを楽しみに見に来た家族連れをはじめ、漁港関係の漁師と遊びに来ていたヤンキー、そして来賓として招かれた県知事と秘書、その取り巻きの我ら県職員らが見守る中、はたしてコンサートは無事に開催することができるのか？ここがこのロケ最大の見どころとなる。阿部先生の担当パートはドラマ。役中で子供の頃に和太鼓をやっていたという設定でドラムに抜擢されたことを後に知ったが、実はまったくの超初心者だったらしい。この日のスティックさばきを見ていても不慣れな感じはすぐにわかったが、恐るべきはその取り組む姿勢だ。スティックを肌身離さず持って黙々と休憩時間もドラムを叩き続けるその姿に思わず感動。

これが日本を代表する大俳優たる所以なのだろう。一方、今回のエキストラとしての役割は、このコンサートを椅子に座ってただひたすら見るだけ。演技らしいことは一切無かった。午前中はもの珍しいことばかりで緊張感もあり、中々面白いと思っていたが、お昼の食事をいただき午後に入るとパイプ椅子に座り続けることに苦痛を感じるようになってきた。しかもデビューコンサートということで音楽隊の演奏もお世辞にも褒められたものでもなく、同じフレーズを何度も聞いてさすがに飽きてきたこともあった。しかしながら、役者さんたちの演奏、演じ続ける姿は尊く、カッコよく目に映ったことも事実。エキストラが先に音を上げるわけにはいかなかった。

そしてこの日、最大の見どころが最後にやってくるのだが…。実はこのシーンでも阿部寛大先生のプロ根性をまざまざと見せつけられた。ちょっと手を伸ばせば触れることができそうな距離感で納得いくまで何度も段取りを確認して、一発本番に臨む姿にまたしても感動。失敗が許されないシーンの撮影を最初から最後まで超間近で見届けることができ、これまたエキストラ冥利につきる素晴らしい体験となった。ちなみにこの見せ場が無事に終わった瞬間、自然と拍手が沸き起こったことは言うまでもなく、大仕事を終えた阿部寛大先生のはにかんだ笑顔は今でも忘れることができない。

さて昨半夏、映画公開前に関係者を集めての先行試写会があり幸運にも見る事ができた。自分の出演シーンはさておき、クライマックスでの演奏シーンはデビューコンサートのそれとは比較にならないほどの出来栄で本当に素晴らしいものだった。おそらく阿部先生はじめ、役者の皆さんもあれから相当練習されたんだろう。オール東三河ロケということで、見たことや知っている場所も多く登場す

る「異動辞令は音楽隊！」機会があればぜひどうぞ。演奏シーンはもちろん、風景やエキストラにも目を向けると意外な面白い発見があるかも。

にわか編集長コメント

一般ピーポーじゃ絶対無理な距離感で超有名名人を見れるなんて役得の限りですね。見る機会があれば漁港シーンは目を皿のようにして大河内先生を見つけて出したいと思えます。

一日一仕事

水野 順也

第126回

弊社の仕事

弊社の仕事には納期がない。というか納期までのスケジュールは自分で決めるスタイルである。(実際には納期は存在しているのだが)。日々納期に間に合わないくらいの仕事量があって、それに追われている類の業務や画一的なルーティーン業務ではないのだ。そんな中一つトラブルが発生すれば、次から次へと波が押し寄せるような自分では止めようもない状況に陥る。その状況を回避するのはやはり、スケジュール管理(一言でスケジュール管理といえど様々な工数が存在する)であるが、その前にもっと大事なことがある。依頼相手の想いを理解することだ。思いやり。相手の気持ちは中々読めないが、一つの方法は、「なぜ弊社にその案件を依頼してくれたか」もしくは「弊社に何を期待して依頼してくれたか」を認識することが一番大切なこ

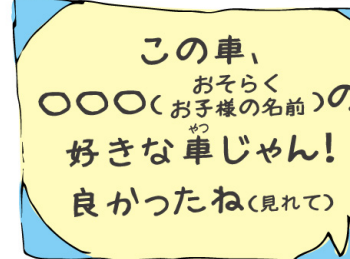
とだと思ふ。例えば、自分に近い人や好きな人、家族、親友、お世話になった方からの相談は親身になって答えようとするのが常である。同じように仕事の現場でのお客様の依頼にもなぜ弊社に、なぜ私を選んでくださったのかを直接訊くのもいいし、察するのでもいいと思う。想いを共有できればそれが実現への原動力となる筈だ。まずはお客様の想いを共有するところから始めれば、スケジュールも必然と精度が高まるし、対応も変わるであろうと思う。そんな思いやりを持った仕事のできる集団にしていきたいと願う。

- ① なぜ弊社に依頼していただけたか
 - ② その案件の目的・目標を理解する
 - ③ 目的・目標を達成するための業務範囲・仕様(スコープ)を確定する
 - ④ ③に対する見積り
 - ⑤ 合意する
 - ⑥ 開始
- これが弊社の仕事の手順とする

にわか編集長コメント

スケジュール管理はどのジャンル、仕事にかかわらず人が生きる上でものすごく重要なものの一つですね。世の中にはアナログ・デジタル様々なツールがありますが、全ては使い次第と感じます。

名車になれた日



した。久々に来ましたが、やはりいい雰囲気。こりゃあロケ地にうってつけ。多くの方で賑わっていました。メニューの豊富さと安定の味、ローカル & 昭和テイストで心が落ち着きます。食後は社長宅のユキちゃんに触れ合ってきました。生後7ヶ月ほどの秋田犬ですが、この堂々たる体格。立派です！ (文・山本)



今月のお題

今年行ってみたいところはどこ？



須川高原



秋田犬交流会



東本デイズシー



大谷資料館



京都

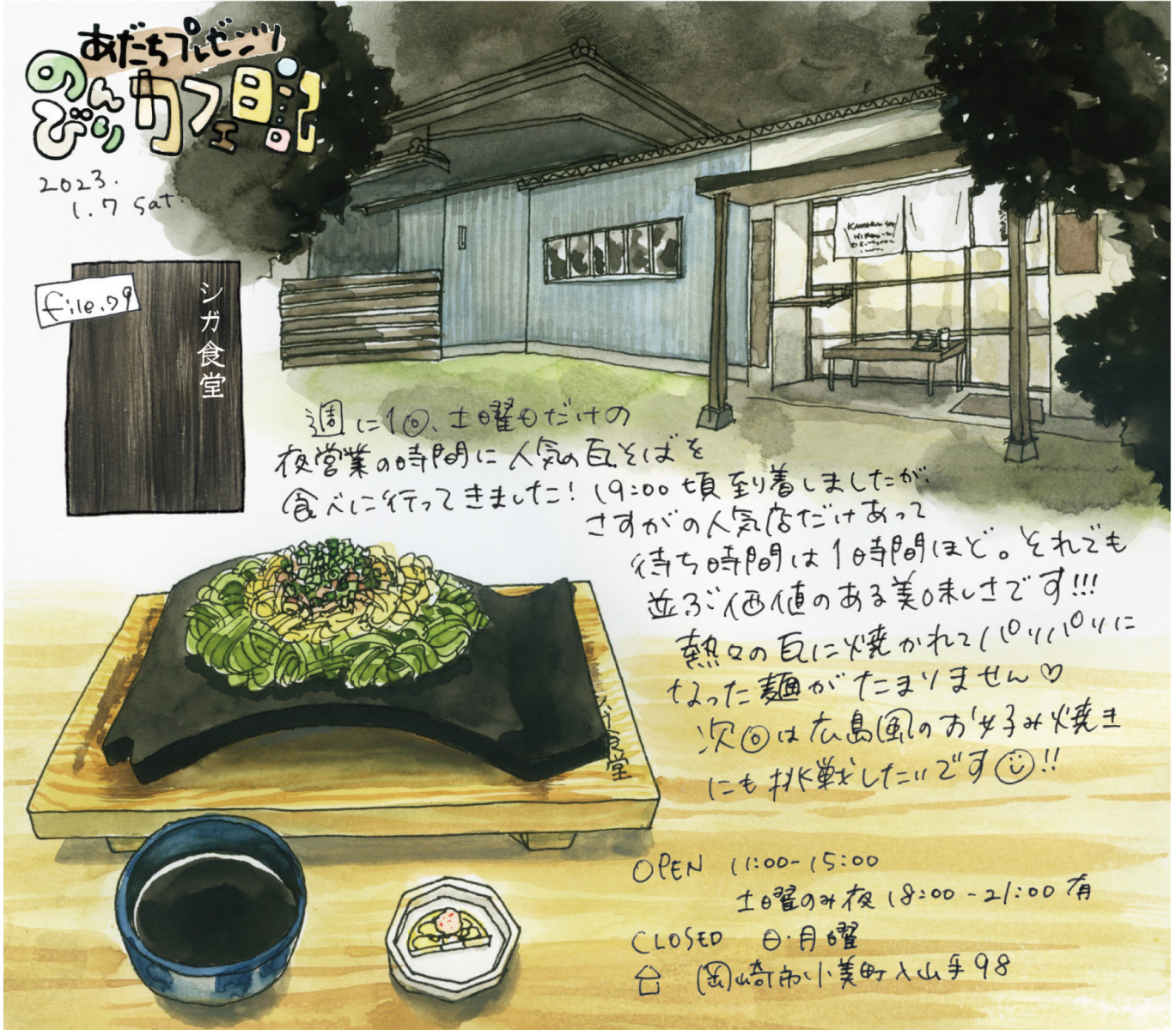


北海道



パーラームーミン with 大河内・山本

今回はレストランさんかい 形原店へ。さんかいをこっそり食堂で取り上げるのは実ははじめて？だそうですよ。意外で



にわか編集長
コメント

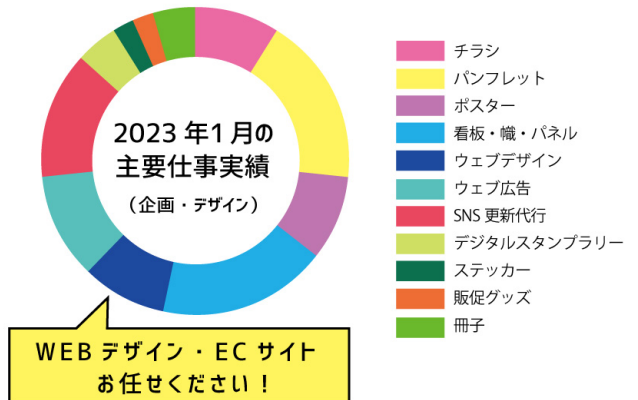
週に一回とはユニーク。瓦焼き、まず見た目目が面白いですね。絵からアツアツの瓦で焼かれたそばの香りがしてきそう。

今月の 八百万百景

日本のモンテカルロ

撮影者：五十嵐瑞希さん

スカベンジャーラリーの出発シーンです！自分の表情が、むくみと緊張のせいか非常に残念だったので、似顔絵で隠しました。緊張よりワクワクのが勝っていたと思いますが、引き裂けているように見えましたね…。



今月の
にわか編集長
編集後記も持ち回り制!

スカベンジャーラリーに参加するまで実は悩みに悩みました。イベントの存在を知ってから参加してみたい！という気持ちが強かったのですが、なぜか覚悟が決まらずグズグズしていました。故の後方 65 番でございます；^ (必ずしも番号は先着順という訳ではありません)。次回は躊躇せず即申し込みをする所存でございます！

山本 兼 佑